



佐藤 峯夫 議長

今は誰もが将であり、参謀である時代

「人は城、人は石垣…」は「大事なものは何よりも人間だ」という教えの筈…。

昨年10月から本年3月の半年間に失職したか、職を失うことが決まっている派遣社員や期間従業員など非正規労働者は約8万5千人に上る見込み…。

さつ

平成21年も2月に入りましたが、市議会だより13号は新年号です。2月の異称に「如月」と「初花月」などがありますが、初花という文字

今年に翔る

市民インタビュー
年男
年女

今年(うし)年です。団塊世代の昭和24年丑年生まれが、還暦をむかえる年です。仙北市内の「年男」、「年女」の方に、議会広報委員が直接インタビューを試みました。6人の年男、年女の丑年に翔る意気込みをご覧ください。なおインタビューにあたった方は、浦山、田口喜、浅利、黒沢、青柳の5人の委員です。



キャッチミー

佐々木 昭雄

これはドラマ「フルスイング」の一節である。一つの例だが、後期高齢者医療制度は福祉国家にあわないう人がいる。

戦後日本直直しの功労者が一番困っている。と村の古老から、中生保内が長寿なのは白滝の水を飲んでいからではないかと云われ、調査するこ

2009年に思うこと

浦山 ひろみ

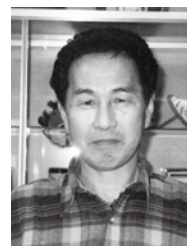


新しい年、2009年をしんしんと降り続ける雪を見つめながら家族揃って迎えることができず。なによりもありがたく幸せなことだと思っています。

今年の干支は「うし」。12年ぶりの年女です。「うし」のように大地をしっかり踏みしめ、一步一步着実に歩み、前向きにがんばることが今年の抱負です。毎日学校で、子どもたちから元気パワーと「若さ」をもらいながら過ごしています。今年「うし」のようにつづらで慈愛に満ちた目をもちたいと思います。毎日学校でふれあっている子どもたちは、これからの仙北市を担っていく地域の宝です。子どもたちが未来に向かって大きな夢をもてるように、そしてその夢に向かってがんば

観劇

岡田 憲一



ることができるよう支え、見守っていきたく強く願う「うし」年の今年をがんばってまいります。

08年の世相を象徴する漢字に選ばれた『変』は、現在の社会・経済の様子をまさにシンボリックに現しています。私たちの世代は子育て、仕事、生活に毎日忙しく追われてきた24年生まれです。数年前から同期会の有坂会長がお正月に、わらび座の小劇場で、観劇する計画をしてくれまして、現在も続いております。忙しい中で劇場に足を運ぶ余裕すらなかった人生で、ゆつたりとした一年間を過ごすことが出来ました。今年の干支の牛といえどどんな光景を思い描くだろうか。ステーキ、焼き肉…、どかっと足を地に着けた泰然自若とし